芸文協芸術委員　グループトークまとめ

◎組織で活動するのが嫌な人、定年しても仕事やスポーツをやる人などが多く、人が集まらない

・定年した（特に男性）は仕事を続けたりスポーツをする人が多く文化芸術活動にとりこめない。

　・組織で活動するのが嫌な人が増えている。

　・活動をやってみたいが時間がない人がいる

◎高齢化や活動内容の技能習得まで時間がかかるなどの理由で活動する人が減っている団体がある

　・年を取って家族に止められて活動を止める人もいて会の維持をどうするか悩む

　・上達まで１０年以上かかる技能習得は若い人が続かない。

　・お客も高齢化して来なくなった

◎高齢者や芸文協の側からは若い人の動きが見えにくいが、時々はいっしょに活動したい

　・高齢者と若者は活動は別々でも発表は一緒にするなど若い人も活動しやすくしたい

　・芸文協の側からは精神的経済的な違いがあるのか若い人の動きが見えにくい

◎活動の活性化のために外部講師の招聘や地域の芸文協以外の団体とも情報交換したい

・指導者が不足しているので、レベルアップと活性化のため外部講師を招く補助があるといい

・発表や活動の機会があれば目標になり活動も楽しめる

◎子どもの頃の芸術体験は大事なので学校だけでなく学ぶ場を作り成長に応じて活動でき

るといい

・若いうちに芸術にふれることが大事なので子どもたちが体験できるきっかけがいくつもあり、大事にできるといい

・学校教育に和の文化を取り入れて興味を示してくれる小さいうちから体験させたい

・学校は忙しさや働き方改革で外部との連携の機会は限られている

・子ども向けの活動は放課後の活用など学校の外でもできるのではないか

・合唱団体のように小学生以降も継続して活動できる仕組みがあるといい

◎目的に沿った活動場所は利用のしやすさも追求しながら既存の施設も活用したい

　・各施設の使用方法など全市的に横のつながりをよくして利用しやすくしたい

　・和の文化施設は鶴岡にはないので欲しいが既存施設の活用もできるといい

　・音の出る活動は練習場所の確保が課題だが自分たちで確保している団体もある。

　・１０人程度なら自宅で活動できる

　・廃校のような建物を文化団体に使わせてはどうか